

# 令和7年度 学校運営方針説明会

令和7年5月24日

説明会の流れ (10時30分～11時35分)

1. 学校運営方針について

校長

2. 本校のいじめ・不登校対応について

生徒指導担当 早川

3. 本校の校内研究について

校内研究担当 野崎

引き渡し訓練について (11時35分～11時40分)

# 令和7年度 学校運営方針



# なぜ、こんな説明会が？

## 校長としての願い

学校が立てた目標について、保護者の方にもご理解いただき、同じ方向性をもって、保護者の方と協力しながら子どもたちを育てていきたい



令和7年度 学校教育目標



一人ひとりの個性や人権を尊重し、社会で生きていく力を育む

学校経営方針

子どもの主体性を第一に考え、子どもが選び、子どもが決め、子どもと共に創る学校



令和7年度 学校教育目標

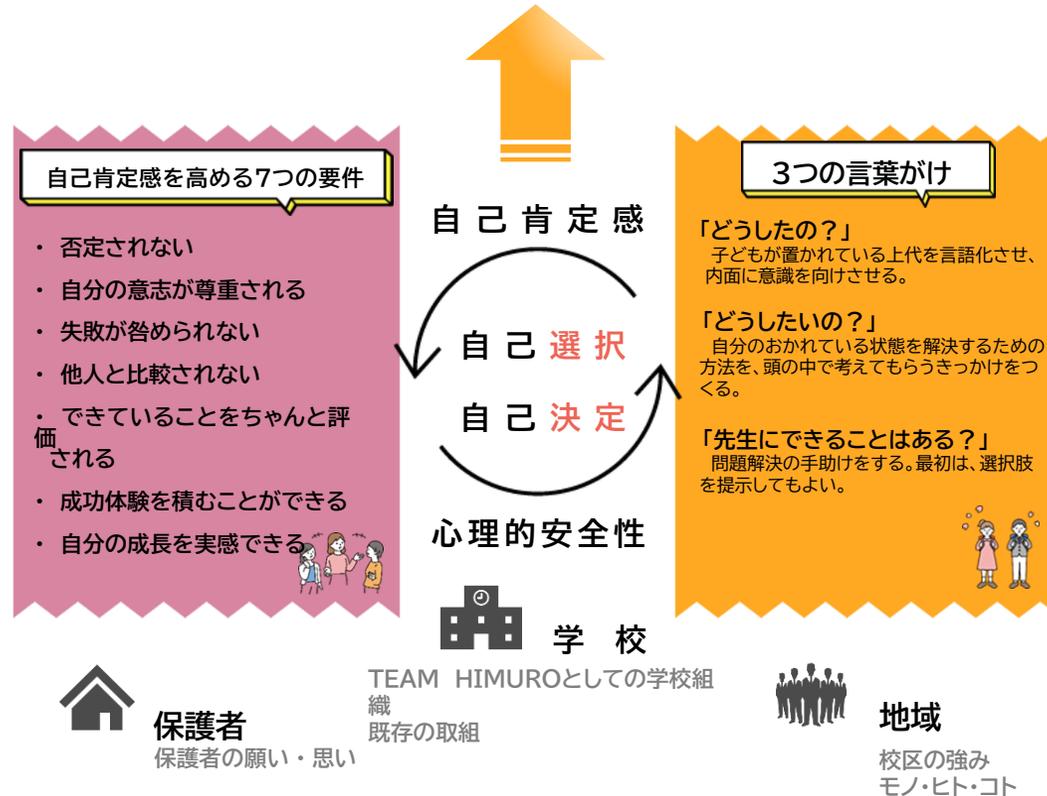
一人ひとりの個性や人権を尊重し、社会で生きていく力を育む

学校経営方針

子どもの主体性を第一に考え、子どもが選び、子どもが決め、子どもと共に創る学校

めざす学校像 

- (1)他者と協働しながら、自立して学べる子どもを育む学校
- (2)心理的安全性が高く、一人ひとりの自己肯定感を高める学校
- (3)一人ひとりの個性や人権が尊重され、主体性を大切にしたい学校
- (4)一人ひとりの挑戦する心や自己決定する場面を尊重し、自己肯定感を高める学校
- (5)全教職員が「TEAM HIMURO」として、学校教育の全てに携わる学校
- (6)地域の特性を学校教育に活かし、地域と歩む学校
- (7)保護者との連携を大切に、協力・協働しながら共に教育を行っていく学校 



参考 「最新の脳研究でわかった！自律する子の育て方」  
工藤勇一・青砥瑞人 著 大日本印刷株式会社

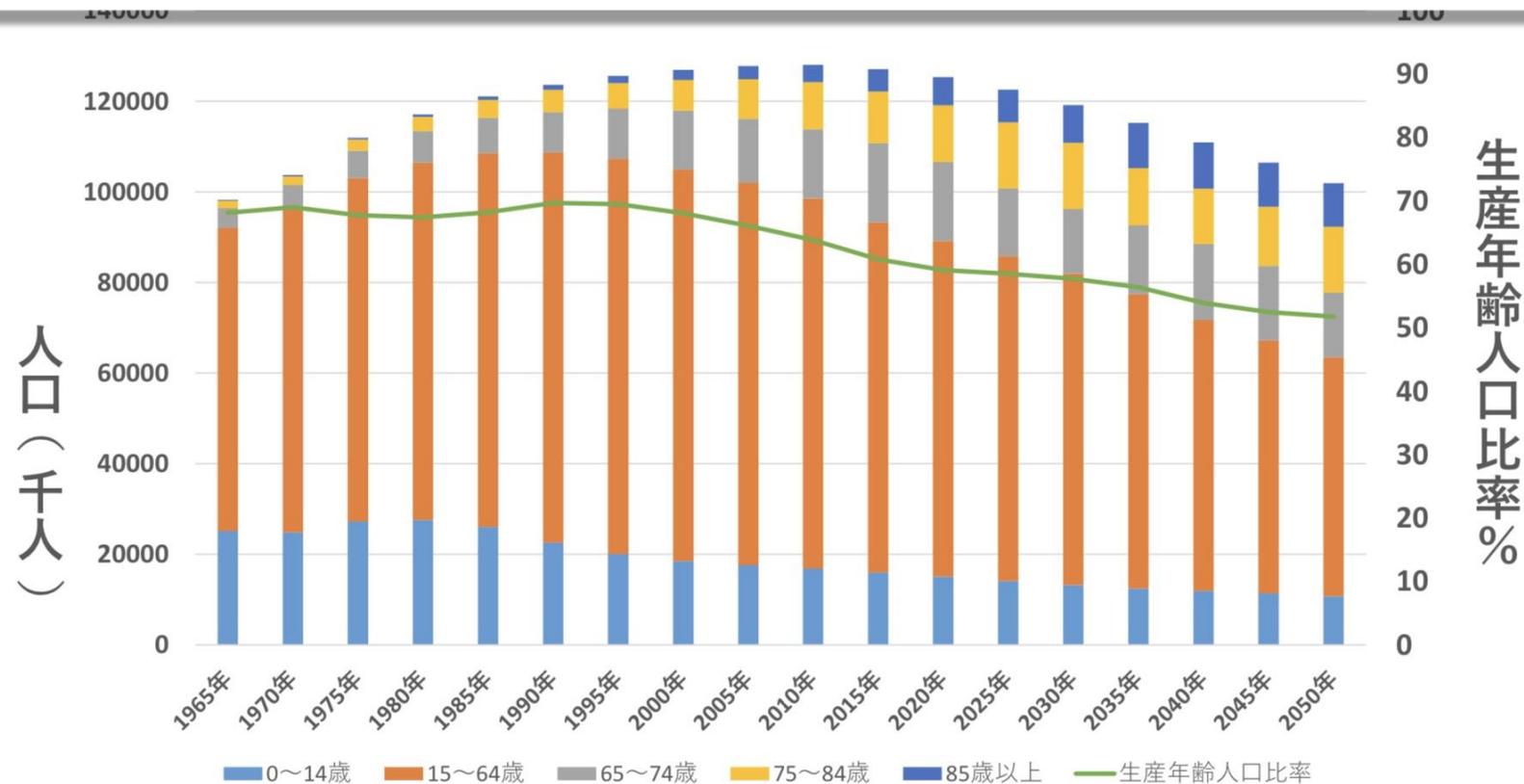
# 学校教育目標に込めた思い

そもそも「教育」とは？

子ども達が生きていく10年後、20年後の未来に思いを馳せ、  
その時代を生きていく上で必要な力を考えて育てていく必要がある。

## トレンド① 人口減少・少子高齢化

- 2050年に約1億まで減少する見込み。
- 生産年齢人口比率は約5割に。





# 今日から見える未来の社会情勢(3)

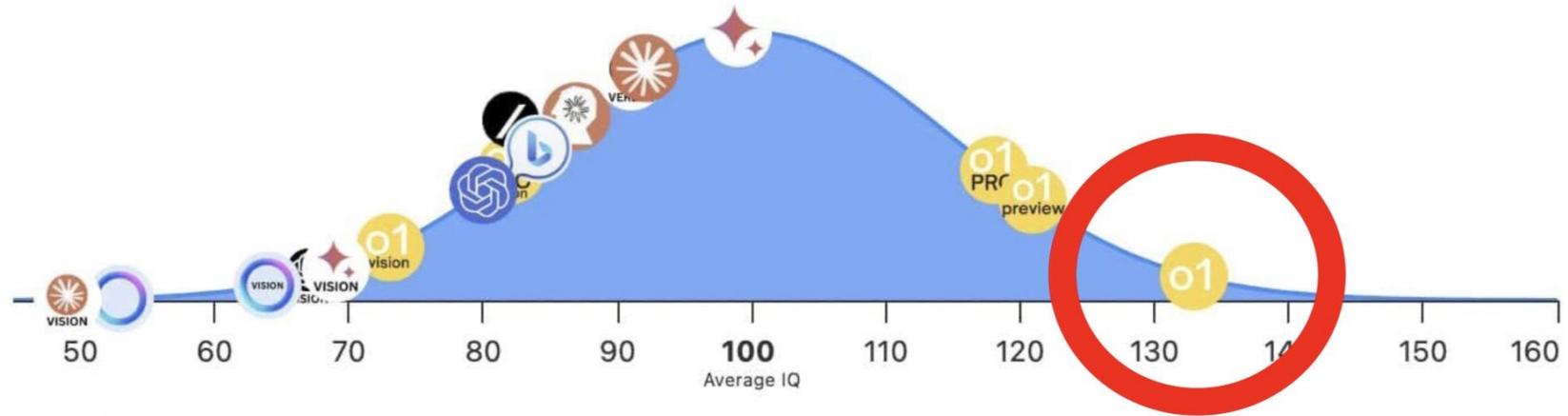
## GPTo 1 知能指数テストで130超え 【出所】IQ Test | Tracking AI

This site quizzes 11 Verbal & 7 Vision AIs every week | Last Updated: 07:50AM EST on December 13, 2024

### IQ Test Results

[Reset](#) [Show Offline Test](#) [Show Mensa Norway](#)

Mensa Norway IQ Scores (Average of last 7 tests)

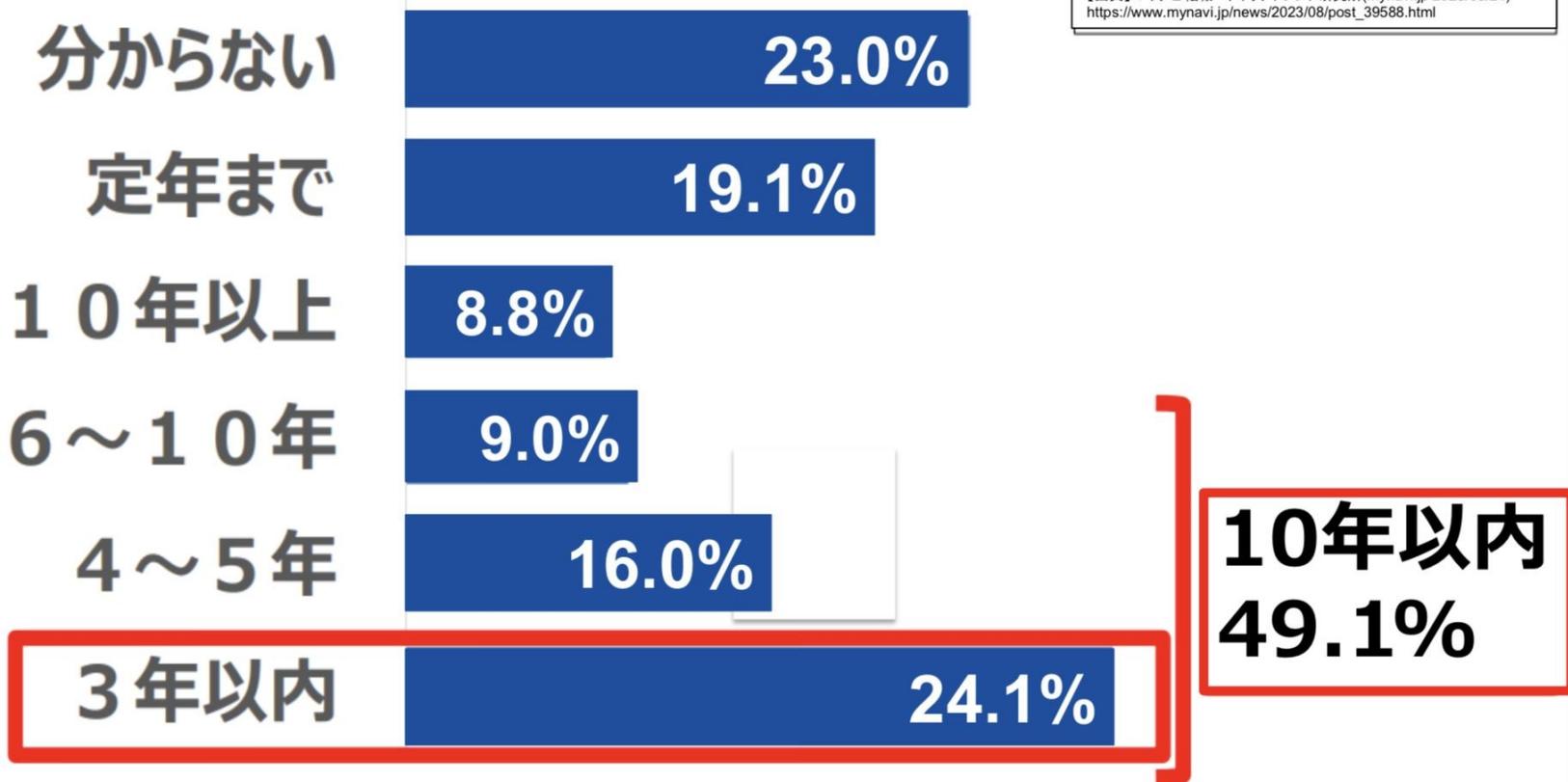


- OpenAI o1 Pro (Vision)
- OpenAI o1 Pro
- Claude-3.5 Sonnet
- GPT4 Omni
- Grok-2
- OpenAI o1 (Vision)
- OpenAI o1
- OpenAI o1 preview
- Llama-3.2 (Vision)
- Bing Copilot
- ChatGPT-4
- Gemini Advanced
- GPT4 Omni (Vision)
- Llama-3.3
- Gemini Advanced (Vision)



# 今日から見える未来の社会情勢(4)

## 2023年新入社員<今の会社で何年働く?>



転職は当たり前、その度に新たな適応、学習  
先生がいなくても学ぶ経験・習慣も大事

# 今日から見える未来の社会情勢

1. 少ない生産人口の中で、持続可能な社会を成り立たせる必要性
2. AIも含めたデジタル技術を使いこなす力を身につける必要性
3. 2の上で、人間のもつ強みを生かせる必要性
4. 自分自身で学び続けることができる力をもつ必要性

# 若者の現状(1)

## PISA2022

日本の平均得点と統計的な有意差がない国

OECD加盟国  
(37か国)

順位	数学的リテラシー	平均得点	読解力	平均得点	科学的リテラシー	平均得点
1	日本	536	アイルランド*	516	日本	547
2	韓国	527	日本	516	韓国	528
3	エストニア	510	韓国	515	エストニア	526
4	スイス	508	エストニア	511	カナダ*	515
5	カナダ*	497	カナダ*	507	フィンランド	511
6	オランダ*	493	アメリカ*	504	オーストラリア*	507
7	アイルランド*	492	ニュージーランド*	501	ニュージーランド*	504
8	ベルギー	489	オーストラリア*	498	アイルランド*	504
9	デンマーク*	489	イギリス*	494	スイス	503
10	イギリス*	489	フィンランド	490	スロベニア	500
OECD平均		472	OECD平均	476	OECD平均	485

全参加国・地域  
(81か国・地域)

順位	数学的リテラシー	平均得点	読解力	平均得点	科学的リテラシー	平均得点
1	シンガポール	575	シンガポール	543	シンガポール	561
2	マカオ	552	アイルランド*	516	日本	547
3	台湾	547	日本	516	マカオ	543
4	香港*	540	韓国	515	台湾	537
5	日本	536	台湾	515	韓国	528
6	韓国	527	エストニア	511	エストニア	526
7	エストニア	510	マカオ	510	香港*	520
8	スイス	508	カナダ*	507	カナダ*	515
9	カナダ*	497	アメリカ*	504	フィンランド	511
10	オランダ*	493	ニュージーランド*	501	オーストラリア*	507

【出典】 OECD生徒の学習到達度調査PISA2022のポイント(国立教育政策研究所)から作成

\* 国名の後に「\*」が付されている国・地域は、PISAサンプリング基準を一つ以上満たしていないことを示す。

全分野で世界トップ級 ICT×学習への慣れも背景

# 若者の現状(2)

## 我が国の子供たちのウェルビーイングの状況

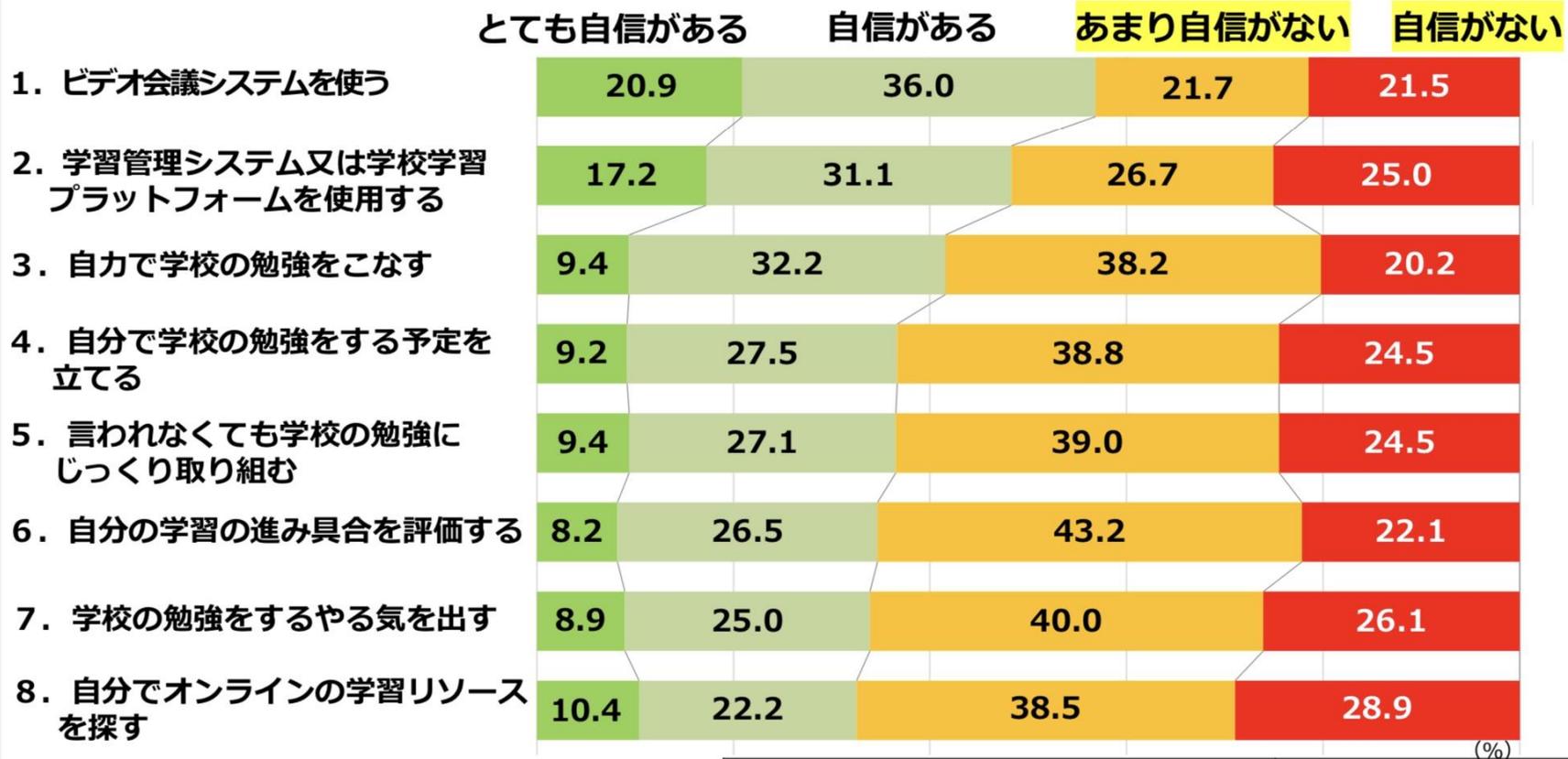
指標分野	指標	日本の結果
物質的な状況	家庭にインターネット環境がない子どもの割合	中
身体的な健康状況	乳幼児の死亡率	高
認知的・教育状況	10歳程度の子どもの数学・科学のトップ学力層の割合	高
	15歳程度の子どもの読解力・数学・科学のトップ学力層の割合	高
	高等教育を修了することを希望する子どもの割合	中
	子ども・若者のうちニートの割合	高
社会・情緒的な発達の状況	自己有用感がある子どもの割合※1	低
	成長意欲がある子どもの割合	高
	人生に意義や目的を感じている子どもの割合※2	低
	全体として人生に満足していると感じている子どもの割合※3	低

【出典】OECD：子供のウェルビーイング指標群（Children's Well-being Dashboard）  
 ※1 困難に直面したとき、たいてい解決策を見つけることができる ※2 自分の人生には明確な意義や目的がある ※3 全体として、あなたはあなたの最近の生活全般に、どのくらい満足していますか  
 ウェルビーイング＝身体的、精神的、社会的に良い状態にあること。いわゆる「幸福感」。短期的な快い感情のみならず、中長期的な生きがいや人生の意義を含む概念。個人の状態のほか、社会や地域の状況の評価も含む概念

# 若者の現状(3)

## 再び休校になった場合、 自律的に学ぶ自信がない生徒が非常に多い

PISA2022



上記8項目を指標化して比較…

※OECD加盟国37か国の平均値が0.0、標準偏差が1.0となるよう標準化されており、値が大きいほど、自律学習に対する自己効力感(自信)が高い。

OECD平均	0.01
日本(34/37位)	-0.68

# 若者の現状(4)

## 国や社会に対する意識

「自分の行動で国や社会を変えられる」、「自分は大人だと思う」割合が低い

(単位：%)	自分は大人だと思う	自分は責任がある社会の一員だと思う	自分の行動で、国や社会を変えられると思う	国や社会に役立つことをしたいと思う	慈善活動のために寄付をしたい	ボランティア活動に参加したい
日本	27.3 6位	48.4 6位	26.9 6位	61.7 6位	36.2 6位	49.7 6位
アメリカ	85.7	77.1	58.5	73.0	66.7	70.4
イギリス	85.9 1位	79.9	50.6	71.2	69.5	64.2
中国	71.0	77.1	70.9	82.1	78.9	85.3 1位
韓国	46.7	65.7	61.5	75.2	62.4	70.7
インド	83.7	82.8 1位	78.9 1位	92.6 1位	83.7 1位	78.1

『18歳意識調査「第46回 -国や社会に対する意識(6カ国調査)-」』(日本財団,2022)

# 若者の現状

1. いわゆる点数という意味での学力は高い
2. 人生に対する幸福度や自己肯定感が低い
3. 社会に対しての関心が低い
4. 自分で自分の学びを調整することが難しい

これまでの授業の在り方を見直し、「教育」とは何かを考え直す必要性

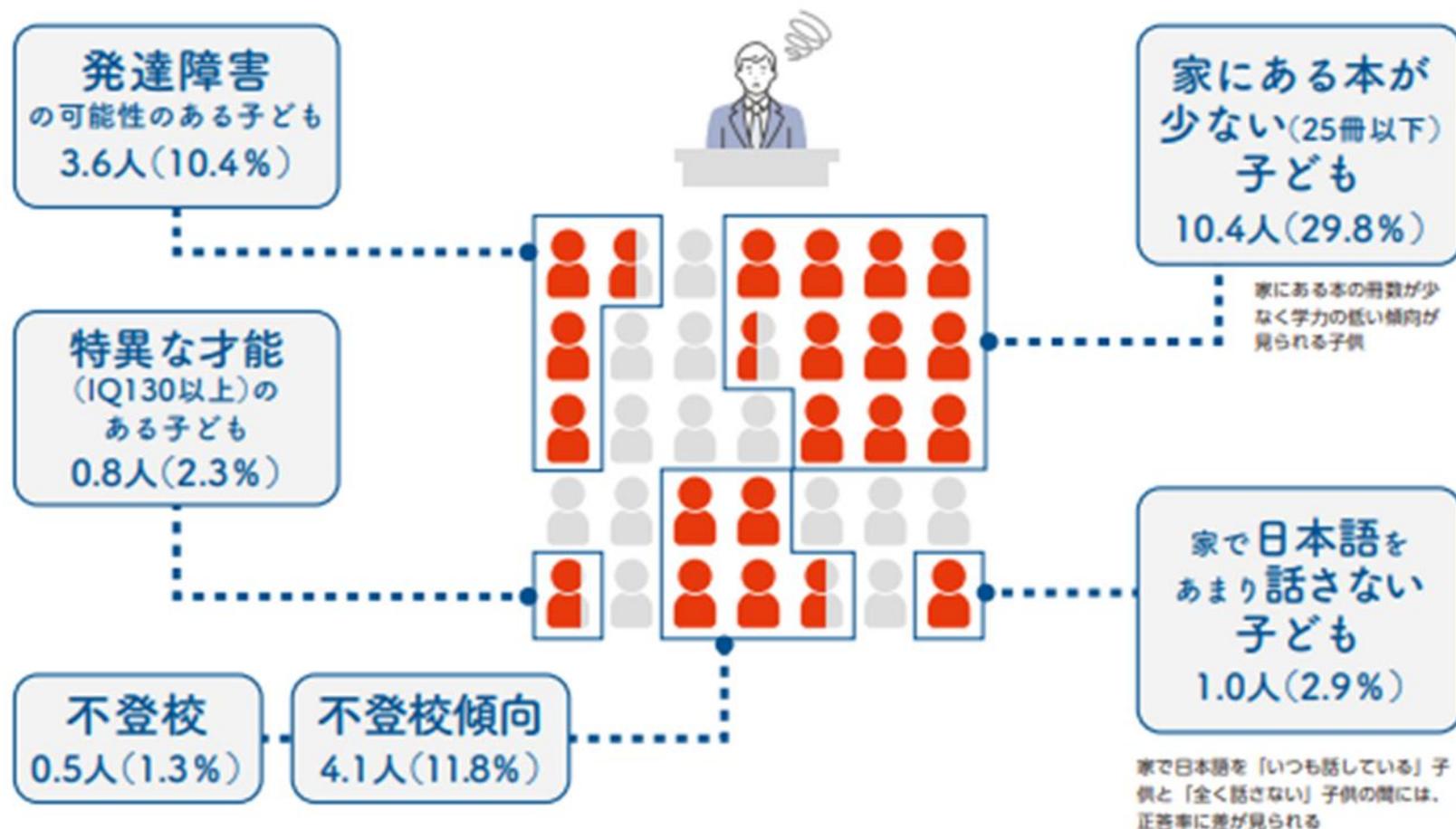
校長が考える教育の最大の目的は

「他者と協働しながら、自立して学べる子」を育てる

## 教室には多様な子どもが集まっています

子どもの多様化が進んでおり、下記のように数字として表れる子ども以外にも、授業の理解度に差があったり、学びやすい方法もそれぞれ違ったりと、子どもはみんな違います。

小学校 35人学級の場合  
(全国値)



## 学校の状況(2)

### 子供たちの認知特性は様々… 視覚優位、言語優位、聴覚優位、体感覚優位…

話すこと・聞くこと  
書くこと・読むこと  
が得意な子供

興味や関心が  
拡散しやすい子供

音やダンスで表現することが  
得意な子供

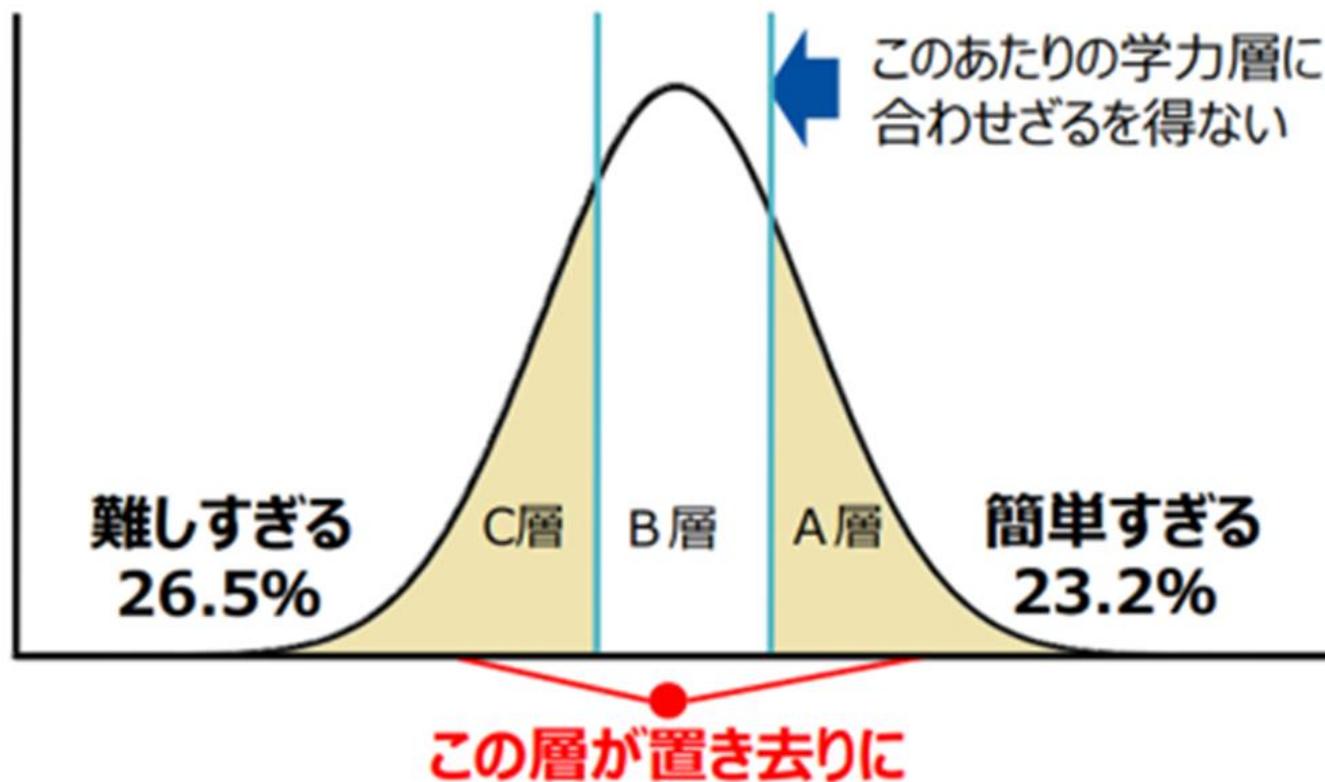
特定の分野に極めて高い  
集中力を示す子供

文字情報の扱いが苦手な子供

# 学校の状況(3)

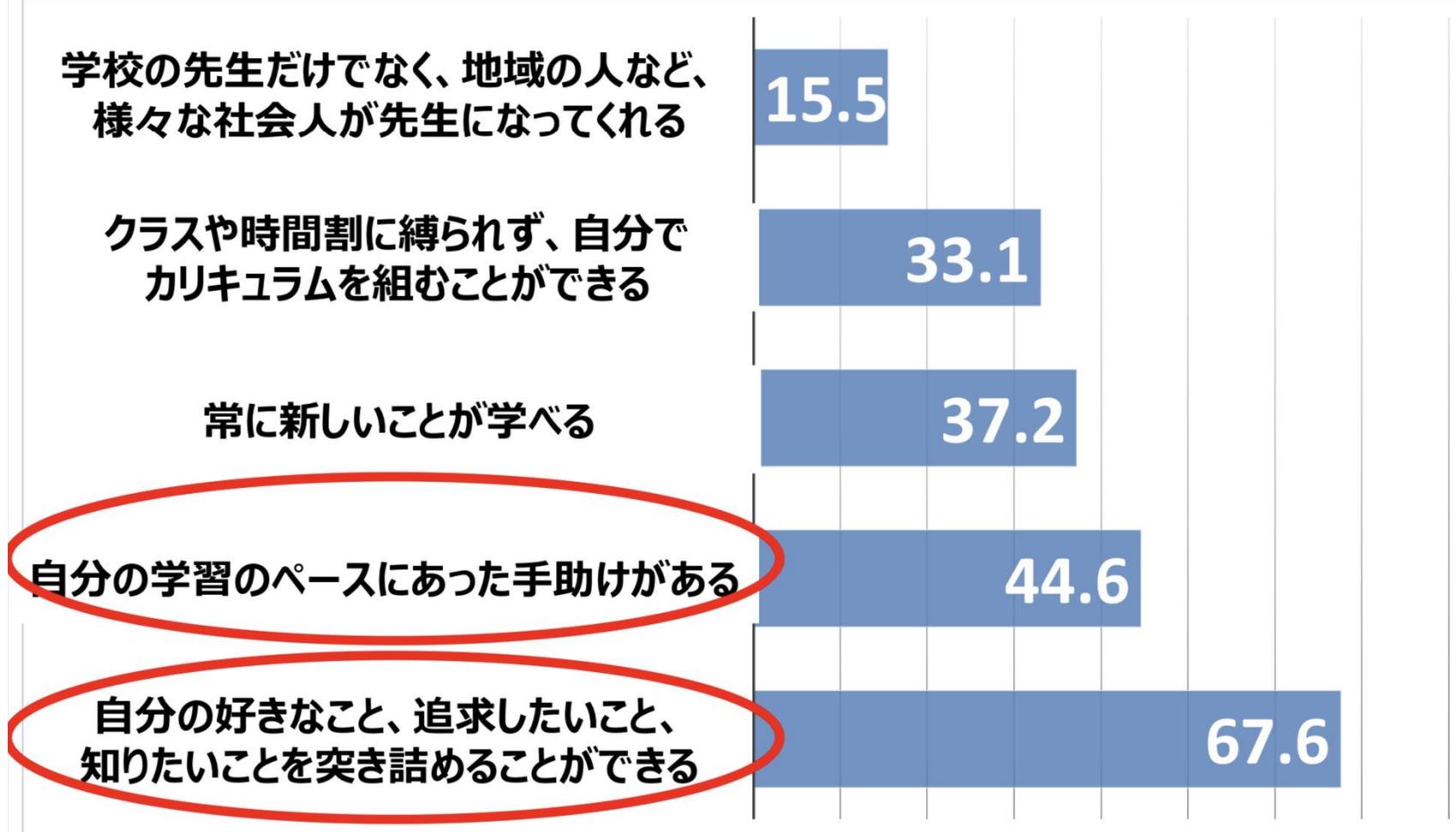
理解度や学力もバラバラ

小4~6



# 学校の状況(4)

## 不登校又は不登校傾向にある現中学生と卒業生(卒業後~22歳) 学びたいと思える場所



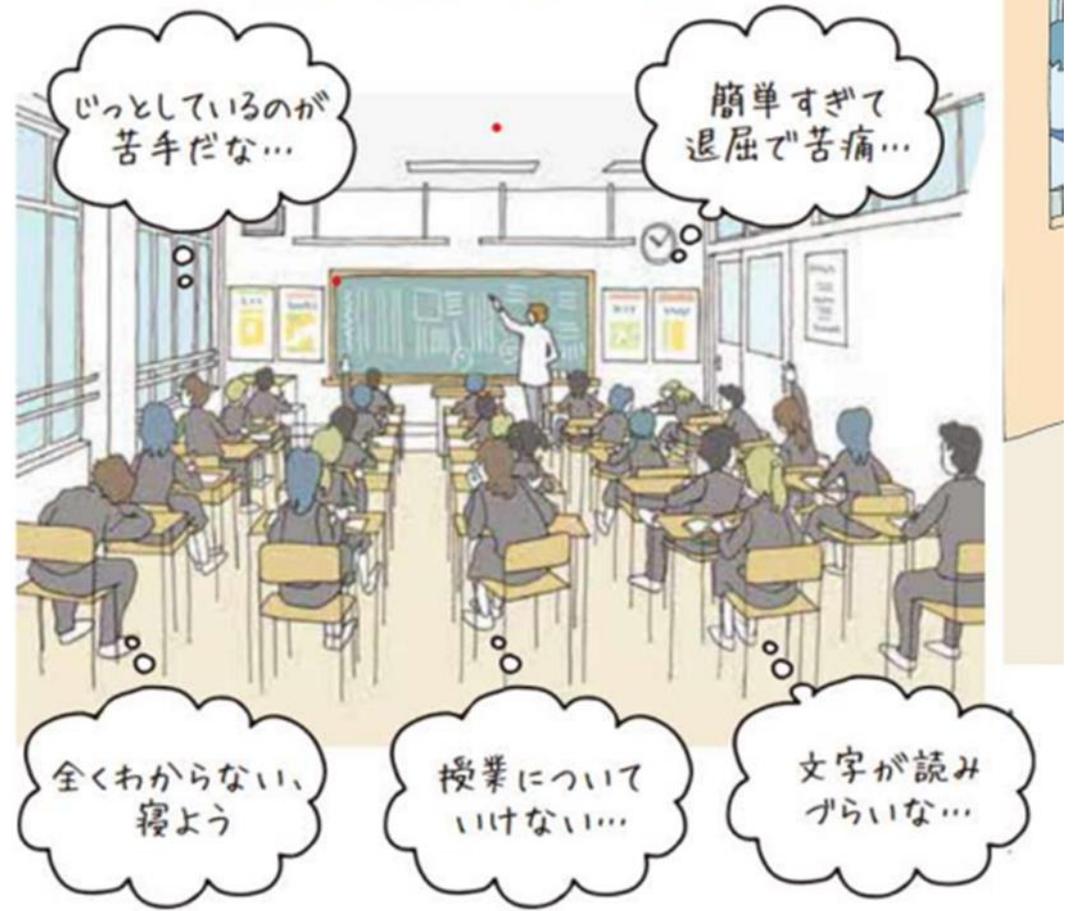
# 学校の状況

旧来型の画一的な授業が生み出したもの

○均質な人材育成に寄与し、  
高度経済成長に大きく貢献

△同調圧力

人との違いが目立つ  
失敗することを嫌う  
クリエイティブな発想や個性が  
発揮しづらい



**授業が苦痛、学校がつまらない  
生きづらさ、様々な問題を生み出す？**

# 今、氷室小学校がめざしているもの(学習面)

## 今が学校教育の変革のとき

### めざす学校像

(1)「他者と協働しながら、自立して学べる子」を育てる

# 今、氷室小学校がめざしているもの(学習面)

## めざす学校像

(1)「他者と協働しながら、自立して学べる子」を育てる

## 校内研究の主題

「主体的に取り組む児童の育成」

## 研究内容

単元内で自己選択・自己決定・自己調整する場面の創出

詳細は、この後、野崎より説明

# 今、氷室小学校がめざしているもの(学習面)



出典:『子供たち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育 ICT 環境の実現に向けて～令和時代のスタンダードとしての1人1台端末環境～』(文部科学大臣メッセージ)(令和元年12月19日)

- Society 5.0 時代に生きる子供たちにとって、PC 端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムです。
- **今や、仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場所で ICT の活用が日常のものとなっています。**
- **社会を生き抜く力を育み、子供たちの可能性を広げる場所である学校が、時代に取り残され、世界からも遅れたままではいられません。**

**GIGAを前提に、デジタル人材育成を強化する必要**

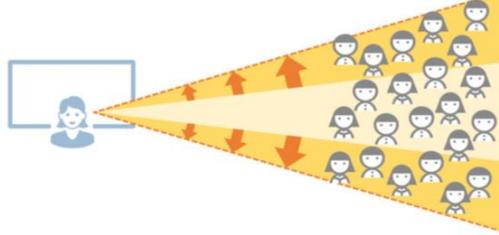
# 今、氷室小学校がめざしているもの(学習面)

## 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」のための サポートマガジン「みるみる」抜粋（令和7年4月公表）

### 子供一人一人の多様性への着目

#### ①図表

誰一人取り残さず全ての子供たちに  
「主体的・対話的で深い学び」が実現しているかという視点をもつ



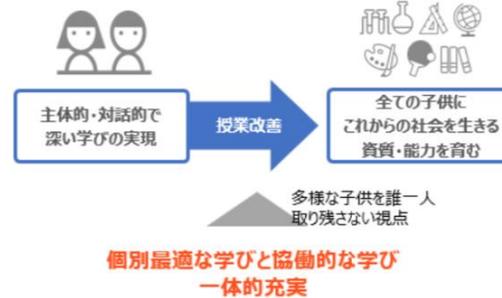
#### ②本文抜粋

顕在化している子供の多様性の状況などを踏まえると、特定の指導方法や学習方法を全員に対して採用したからといって全ての子供の学びを「主体的・対話的で深い学び」にできるとは限らず、子供一人一人の興味関心や学習特性を踏まえながら、学びの実現を目指していくことが重要となります。こうしたことが、令和答申において「個別最適な学び」が提唱された背景にあります。

### 「主体的・対話的で深い学び」と「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の関係

#### ①図表

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、  
誰一人取り残さない形で、  
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる



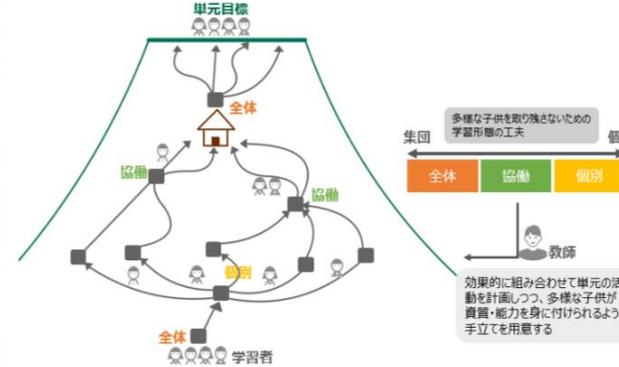
#### ②本文抜粋

「主体的・対話的で深い学び」の実現を通じて、これからの社会で求められる「資質・能力」の育成を図るという学習指導要領の目指すものを、多様な特性を有する全ての子供に対して実現しようという視点が「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」です。（中略）

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」が盛んに授業研究のテーマとなっていくことは歓迎されることですが、それ自身が目的化することがないよう、「主体的・対話的で深い学び」を通じた資質・能力の育成という出発点に立ち戻って考えることが大切です。

### 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」のための学習形態・手立ての工夫

#### ①図表



#### ②本文抜粋

単元の目標を達成するための一人一人異なる子供の学びの過程を見通して、全ての子供が単元の目標を達成できるよう、全体に指導する場面、協働が必要な場面、個別に学習を進める場면을効果的に組み合わせて単元を設計していきます。そしてそれぞれの学習場面において、ICTも効果的に活用しつつ、多様な子供たちが取り残されることなく資質・能力を育成できるように教材・発問や学習環境の工夫といった様々な手立てを効果的に用意します。

# 今、氷室小学校がめざしているもの(学習面)

## 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」のためのサポートマガジン「みるみる」抜粋 (令和7年4月公表)

①図表

「主体的・対話的で深い学び」が実現している状況を示す図表

①図表

「主体的・対話的で深い学び」と「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の関係

①図表

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」のための学習形態・手立ての工夫

②本文抜粋

顕在化している子供の多様性の状況などを踏まえて、特定の指導方法や学習方法を全員に対して適用したかについて全ての子供の学びに「主体的・対話的で深い学び」が実現しているかを、子供一人一人の興味関心や学習特性を踏まえた上で、学びの実現を目指していることが重要となります。このため、今後指導において「個別最適な学び」が実現された時期に努めます。

②本文抜粋

「主体的・対話的で深い学び」の実現を通じて、これからの社会で求められる「資質・能力」の育成を促すという学習指導要領に照らすと、多様な学習者を含む全ての学びに対して実現しようとする「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」が、他人事として捉えられがちです。このため、各学年において「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」が実現された時期に努めます。

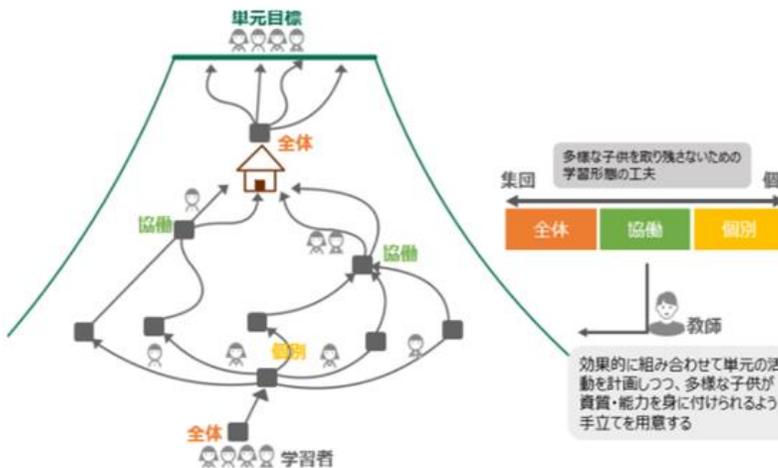
②本文抜粋

単元の目標を達成するための一人一人異なる子供の学びの過程を見通して、全ての子供が単元の目標を達成できるように、全体に指導する場面、協働が必要な場面、個別に学習を進める場面を効果的に組み合わせる工夫を設計していきます。そしてそれぞれの学習場面において、ICTも効果的に活用しつつ、多様な子供たちが取り残されことなく資質・能力を育成できるように教材・発問や学習環境の工夫といった様々な手立てを効果的に用意します。

13

## 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」のための学習形態・手立ての工夫

### ①図表



### ②本文抜粋

単元の目標を達成するための一人一人異なる子供の学びの過程を見通して、全ての子供が単元の目標を達成できるように、全体に指導する場面、協働が必要な場面、個別に学習を進める場面を効果的に組み合わせる工夫を設計していきます。そしてそれぞれの学習場面において、ICTも効果的に活用しつつ、多様な子供たちが取り残されことなく資質・能力を育成できるように教材・発問や学習環境の工夫といった様々な手立てを効果的に用意します。

# 今、氷室小学校がめざしているもの(生活面)

## めざす学校像

- (2) 心理的安全性が高く、一人ひとりの自己肯定感を高める学校
- (3) 一人ひとりの個性や人権が尊重され、主体性を大切にしたい学校
- (4) 一人ひとりの挑戦する心や自己決定する場面を尊重し、自己肯定感を高める学校

### 自己肯定感を高める7つの要件

- ・ 否定されない
- ・ 自分の意志が尊重される
- ・ 失敗が咎められない
- ・ 他人と比較されない
- ・ できていることをちゃんと評価される
- ・ 成功体験を積むことができる
- ・ 自分の成長を実感できる



自己肯定感

自己選択

自己決定

心理的安全性



### 3つの言葉かけ

「どうしたの？」

子どもが置かれている上代を言語化させ、内面に意識を向けさせる。

「どうしたいの？」

自分のおかれている状態を解決するための方法を、頭の中で考えてもらうきっかけをつくる。



「先生にできることはある？」

問題解決の手助けをする。最初は、選択肢を提示してもよい。



令和7年度 学校教育目標

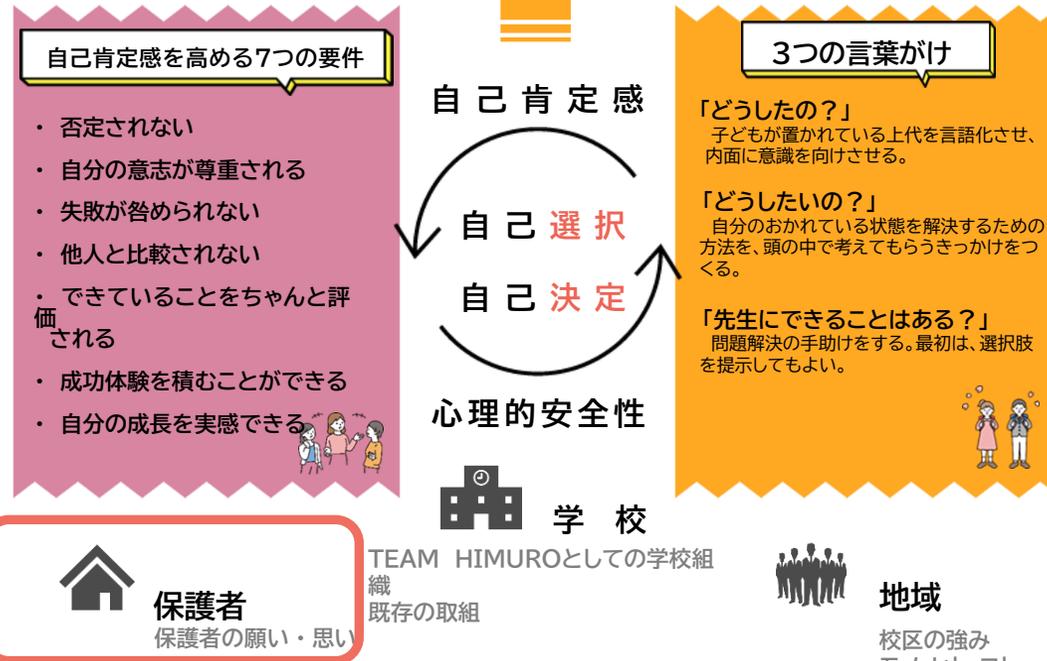
一人ひとりの個性や人権を尊重し、社会で生きていく力を育む

学校経営方針

子どもの主体性を第一に考え、子どもが選び、子どもが決め、子どもと共に創る学校

めざす学校像 

- (1)他者と協働しながら、自立して学べる子どもを育む学校
- (2)心理的安全性が高く、一人ひとりの自己肯定感を高める学校
- (3)一人ひとりの個性や人権が尊重され、主体性を大切にしたい学校
- (4)一人ひとりの挑戦する心や自己決定する場面を尊重し、自己肯定感を高める学校
- (5)全教職員が「TEAM HIMURO」として、学校教育の全てに携わる学校
- (6)地域の特性を学校教育に活かし、地域と歩む学校
- (7)保護者との連携を大切に、協力・協働しながら共に教育を行っていく学校 



参考 「最新の脳研究でわかった！自律する子の育て方」  
工藤勇一・青砥瑞人 著 大日本印刷株式会社

# ～TEAM HIMURO～

学校が立てた目標について、保護者の方にもご理解いただき、  
同じ方向性をもって、保護者の方と協力しながら子どもたちを  
育てていきたい

参考資料・引用元(ページに記載がないもの)  
文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教育課程企画室長  
栗山 和大氏  
「令和7年度 大阪府小学校校長会資料」



氷室小学校ブログ